



12月には、池一面が蓮の葉で覆われる夏と違い、枯れた葉の色と黒い水面が寂しさを誘う。



寒さの厳しい2月になると葉はすっかりなくなってしまう。



4月になると池の周りは春の花が「次は私よ」と言わんばかりに次々と開花する。



5月、広々とした水面下では、鯉や亀、すっぽんらが悠々と泳ぎ回っている姿を見ることが出来る。



水辺の鳥たちも池の中島から自由に行き来している。この頃から蓮の葉が伸び始める。



そして6月にはそろそろつぼみも見え始まる。

亀も木陰ならず葉影ができてうれしそう。

